

2021年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 クックパッド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2193 URL <https://info.cookpad.com/>
 代表者（役職名） 代表執行役（氏名） 岩田 林平
 問合せ先責任者（役職名） 執行役（氏名） 犬飼 茂利男 (TEL) 050-3142-1532
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	5,106	△5.5	△1,056	—	△1,048	—	△1,142	—	△1,001	—	△450	—
2020年12月期第2四半期	5,401	△6.6	319	△30.0	325	△24.2	22	△63.3	217	△25.0	△563	—
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2021年12月期第2四半期	△9.32		—									
2020年12月期第2四半期	2.02		2.02									

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	26,532	24,076	23,028	86.8
2020年12月期	26,512	24,513	23,323	88.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

当社グループは、日本を含む世界中の人々に向けて「毎日の料理を楽しみにする」サービスを提供するべく積極的に投資を行っています。

2021年12月期の連結業績予想については、新規事業への投資が先行するため、営業利益、税引前当期利益、当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は共に損失になることを見込んでいます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	107,429,400株	2020年12月期	107,429,400株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	4,011株	2020年12月期	4,011株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	107,425,389株	2020年12月期2Q	107,425,414株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(6) 継続企業の前提に関する注記	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年12月期第2四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年6月30日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2020年12月期 第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	2021年12月期 第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	前年同期比
売上収益	5,401	5,106	△5.5%
営業利益(△損失)	319	△1,056	－%
税引前四半期利益(△損失)	325	△1,048	－%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益(△損失)	217	△1,001	－%

当社グループは「毎日の料理を楽しむにする」というミッションの下、日本のみならず世界中の料理のつくり手を増やすべく、料理に関する様々な課題解決に向けた積極的な投資を行っています。このミッションについて、当社グループの事業活動の目的・存在意義を明確にするため、定款に「当社は、『毎日の料理を楽しむにする』ために存在し、これをミッションとする。」「世界中のすべての家庭において、毎日の料理が楽しみになった時、当社は解散する。」という記載をしています。

世界中の人々の生活は資本主義体制の中で非常に豊かになりました。貧困に悩む人は減り、医療技術の革新により人類の寿命は長くなりました。しかしながら、生活は豊かになりましたが、肥満や生活習慣病、バーチャルな人間関係の偏重がもたらす心の病は増加しました。また、「地球」の健康という意味でも、CO2の排出量の増加、オゾン層の破壊、土壌や海洋の自浄作用を超えた汚染等大きな犠牲を払ってきました。

外食やデリバリーの普及によって、安くて美味しいものが手軽に食べられるようになりましたが、それらの食品を流通させるために、多くの森林が伐採され、ゴミも増え続けています。結局、今まであった問題を解決する中で、また新たな問題を作っているに過ぎないのではないかと当社グループは考えています。

ひとの健康に必要なのは、食事、運動、睡眠といわれています。世界でもっとも頻度高く行われている社会活動は、家族での食事です。つまり食は、地球にも、ひとにも、社会にも大きな影響を与えているといえます。この食の良し悪しが地球と、ひとと、社会の、これからの分岐点になると思っています。

当社グループは、食の世界を良くするには、「つくり手を増やすこと」が重要だと考えています。資本主義社会では、どうしても利益の追求が優先され、結果、地球の未来を犠牲にすることが多くなりますが、つくり手になると様々な「気づき」が増え、より正しいと思う考えに基づいて「自ら変える力」が強くなります。「つくり手」で居続けてもらうためには、料理が楽しみに、それも、毎日楽しみになる仕組みづくりが必要だと思うのです。料理をもっとクリエイティブで楽しいものにしたい。「つくること」をワクワク楽しいことにしたい。「作業」ではなくどンドンうまくなるものにしたい。料理をとおして、他の人とのつながりが楽しみとなり増えてくようにしたい。そんな風に考えています。

世界中の70億人の中には、すでに料理をたのしんでいる「つくり手」がたくさんいます。そのひとたちのエネルギーや、知恵や、思いや、気持ちや、人々を励まし助けになるようなコミュニティをつくりたいと思っています。当社グループは地球、ひと、社会、の健康を「毎日の料理を楽しむにする」ことによって実現していきます。

それを実現するための取り組みの一つとして、当社グループは、事業展開を加速し、「つくり手」や生活者との物理的距離を縮め、料理に関する様々な課題に迅速に対応するために、本社を2021年5月に神奈川県横浜市に移転しました。

当第2四半期連結累計期間における売上収益は5,106百万円（前年同期比5.5%減）となりました。これは主に国内レシピサービス広告売上が減少したことによります。販売費及び一般管理費は国内新規事業に関わる人員数や事業関連費用および本社移転に伴う一時的な費用が発生したことにより5,954百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

税引前四半期損失は1,048百万円（前年同期は325百万円の利益）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は、法人所得税費用を計上した一方で、CookpadTV株式会社において非支配持分に帰属する四半期損失が発生したことにより、1,001百万円（前年同期は217百万円の利益）となりました。

当社グループは、「毎日の料理を楽しむにせる事業」の単一セグメントであります。売上収益の内訳は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2020年12月期 第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	2021年12月期 第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	前年同期比
毎日の料理を楽しむにせる事業	5,401	5,106	△5.5%
国内レシピサービス会員売上	3,630	3,549	△2.2%
国内レシピサービス広告売上	1,315	1,097	△16.6%
その他売上	456	459	0.7%

当第2四半期連結累計期間における国内レシピサービス会員売上は3,549百万円（前年同期比2.2%減）となりました。これは主に、各通信キャリアが提供を開始した低価格プランへ移行した会員の自動退会により、前年同期末と比較しプレミアムサービス会員が8.9万人減少したことによります。

当第2四半期連結累計期間における国内レシピサービス広告売上は1,097百万円（前年同期比16.6%減）となりました。これは主にネットワーク広告の表示回数が減少したこと、および販売単価が下落したことによります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ19百万円増加し、26,532百万円となりました。このうち、流動資産は363百万円減少し、24,798百万円となり、非流動資産は383百万円増加し、1,734百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、流動資産については、営業活動による支出の増加により現金及び現金同等物が244百万円減少したことによるものです。非流動資産については、本社移転による新オフィスの使用権資産の取得により有形固定資産が415百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ456百万円増加し、2,455百万円となりました。このうち、流動負債は175百万円増加し、1,557百万円となり、非流動負債は280百万円増加し、897百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、本社移転により発生した新オフィスのリース負債の増加によるもので、流動負債において60百万円、非流動負債において483百万円それぞれ増加しております。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ436百万円減少し、24,076百万円となりました。この主な要因は、為替の円安影響等によりその他の資本の構成要素が706百万円増加した一方で、四半期損失の計上により利益剰余金が1,001百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ244百万円減少し、22,441百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により支出した資金は、642百万円となりました。この主な要因は、国内新規事業に関わる費用および本社移転に伴う一時的な費用により、税引前四半期損失1,048百万円が生じたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、189百万円となりました。この主な要因は、本社移転に伴う敷金及び保証金の差入による支出113百万円が生じたことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、194百万円となりました。この主な要因は、リース負債の返済による支出194百万円が生じたことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、日本を含む世界中の人々に向けて「毎日の料理を楽しみにする」サービスを提供するべく積極的に投資を行っています。

2021年12月期の連結業績予想については、新規事業への投資が先行するため、営業利益、税引前当期利益、当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は共に損失になることを見込んでいます。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	22,685,528	22,441,495
営業債権及びその他の債権	2,065,144	2,007,748
その他の金融資産	6,166	4,946
棚卸資産	32,443	25,683
その他の流動資産	372,581	318,301
流動資産合計	25,161,862	24,798,173
非流動資産		
有形固定資産	521,760	937,060
のれん	140,920	140,920
無形資産	105,922	113,607
その他の金融資産	295,944	231,971
繰延税金資産	275,773	277,258
その他の非流動資産	10,634	33,823
非流動資産合計	1,350,952	1,734,640
資産合計	26,512,813	26,532,812

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
リース負債	288,712	349,117
営業債務及びその他の債務	765,137	918,088
その他の金融負債	42,259	51,303
未払法人所得税等	8,455	76,989
その他の流動負債	277,441	162,438
流動負債合計	1,382,005	1,557,935
非流動負債		
リース負債	365,323	849,190
その他の債務	15,324	—
引当金	236,654	48,800
非流動負債合計	617,301	897,990
負債合計	1,999,306	2,455,925
資本		
資本金	5,286,015	5,286,015
資本剰余金	7,194,224	7,194,224
利益剰余金	11,365,838	10,364,074
自己株式	△2,022	△2,022
その他の資本の構成要素	△520,558	185,751
親会社の所有者に帰属する持分合計	23,323,497	23,028,042
非支配持分	1,190,011	1,048,845
資本合計	24,513,508	24,076,887
負債及び資本合計	26,512,813	26,532,812

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	5,401,898	5,106,175
売上原価	△175,286	△214,787
売上総利益	5,226,613	4,891,387
販売費及び一般管理費	△4,913,508	△5,954,866
その他の収益	9,366	10,832
その他の費用	△2,791	△4,038
営業利益(△損失)	319,679	△1,056,685
金融収益	9,221	10,321
金融費用	△3,231	△2,285
税引前四半期利益(△損失)	325,670	△1,048,650
法人所得税費用	△303,048	△94,280
四半期利益(△損失)	22,622	△1,142,930
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	217,258	△1,001,764
非支配持分	△194,636	△141,166
四半期利益(△損失)	22,622	△1,142,930
1 株当たり四半期利益(△損失)		
基本的1株当たり四半期利益(△損失) (円)	2.02	△9.32
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	2.02	—

第2四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	2,649,931	2,482,256
売上原価	△70,430	△105,562
売上総利益	2,579,501	2,376,694
販売費及び一般管理費	△2,472,269	△3,107,691
その他の収益	4,550	4,911
その他の費用	△2,361	△2,817
営業利益(△損失)	109,420	△728,903
金融収益	1,953	199
金融費用	△17,222	△2,703
税引前四半期利益(△損失)	94,151	△731,407
法人所得税費用	△140,898	△12,369
四半期損失	△46,747	△743,777
四半期損失の帰属		
親会社の所有者	60,539	△670,931
非支配持分	△107,286	△72,845
四半期損失	△46,747	△743,777
1 株当たり四半期利益(△損失)		
基本的1株当たり四半期利益(△損失) (円)	0.56	△6.24
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	0.56	—

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益(△損失)	22,622	△1,142,930
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定するものとして指定した資本性金 融商品の公正価値の純変動額	△3,534	457
純損益に振り替えられることのない項 目合計	△3,534	457
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△582,423	691,954
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△582,423	691,954
税引後その他の包括利益	△585,957	692,411
四半期包括利益	△563,335	△450,519
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△368,699	△309,353
非支配持分	△194,636	△141,166
四半期包括利益	△563,335	△450,519

第2四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期損失	△46,747	△743,777
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定するものとして指定した資本性金 融商品の公正価値の純変動額	△3,534	228
純損益に振り替えられることのない項 目合計	△3,534	228
純損益に振り替えられる可能性のある項 目		
在外営業活動体の換算差額	△30,902	73,742
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△30,902	73,742
税引後その他の包括利益	△34,436	73,970
四半期包括利益	△81,183	△669,807
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	26,103	△596,962
非支配持分	△107,286	△72,845
四半期包括利益	△81,183	△669,807

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2020年1月1日時点の残高	5,286,015	7,194,224	11,112,155	△2,008	△227,190	23,363,196	1,458,326	24,821,521
会計方針の変更の影響	—	—	△225,676	—	—	△225,676	—	△225,676
会計方針の変更を反映した当期首残高	5,286,015	7,194,224	10,886,479	△2,008	△227,190	23,137,520	1,458,326	24,595,845
四半期利益(△損失)	—	—	217,258	—	—	217,258	△194,636	22,622
その他の包括利益	—	—	—	—	△585,957	△585,957	—	△585,957
四半期包括利益合計	—	—	217,258	—	△585,957	△368,699	△194,636	△563,335
株式報酬取引	—	—	—	—	9,927	9,927	—	9,927
子会社の支配獲得に伴う変動	—	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△14	—	△14	—	△14
所有者との取引額合計	—	—	—	△14	9,927	9,913	—	9,913
2020年6月30日時点の残高	5,286,015	7,194,224	11,103,737	△2,022	△803,220	22,778,734	1,263,690	24,042,424

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2021年1月1日時点の残高	5,286,015	7,194,224	11,365,838	△2,022	△520,558	23,323,497	1,190,011	24,513,508
会計方針の変更の影響	—	—	—	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	5,286,015	7,194,224	11,365,838	△2,022	△520,558	23,323,497	1,190,011	24,513,508
四半期利益(△損失)	—	—	△1,001,764	—	—	△1,001,764	△141,166	△1,142,930
その他の包括利益	—	—	—	—	692,411	692,411	—	692,411
四半期包括利益合計	—	—	△1,001,764	—	692,411	△309,353	△141,166	△450,519
株式報酬取引	—	—	—	—	13,898	13,898	—	13,898
子会社の支配獲得に伴う変動	—	—	—	—	—	—	0	0
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	—	—	13,898	13,898	0	13,898
2021年6月30日時点の残高	5,286,015	7,194,224	10,364,074	△2,022	185,751	23,028,042	1,048,845	24,076,887

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	325,670	△1,048,650
減損損失	26,503	7,823
減価償却費及び償却費	231,985	373,970
金融収益及び金融費用 (△は益)	56,430	△50,902
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△149,495	251,001
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△38,894	△90,304
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,978	△112,370
その他	△36,218	1,989
小計	409,003	△667,443
利息及び配当金の受取額	7,032	479
利息の支払額	△3,089	△2,282
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	125,399	27,111
営業活動によるキャッシュ・フロー	538,346	△642,135
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△122,637	△64,306
無形資産の取得による支出	△15,533	△16,679
子会社の取得による支出	△53,282	—
敷金及び保証金の差入による支出	△652	△113,726
その他	10,332	5,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△181,772	△189,406

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△196,398	△194,572
自己株式の取得による支出	△14	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△196,411	△194,572
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	160,163	△1,026,113
現金及び現金同等物の期首残高	23,105,395	22,685,528
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△674,367	782,080
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,591,191	22,441,495

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 報告企業

クックパッド株式会社(以下、当社)は日本に所在する企業です。2021年6月30日に終了した6ヶ月間の当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社(以下、当社グループ)により構成されています。

当社グループは、「毎日の料理を楽しみにする」を企業理念とし、インターネット上で料理レシピの投稿・検索等が可能な「クックパッド」を中心に事業展開しています。

2. 作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に定める要件を満たしており、「指定国際会計基準特定会社」に該当しますので、同第93条の規定により、IAS第34号「期中財務報告」に準拠して作成しています。

なお、要約四半期連結財務諸表は、年度の連結財務諸表で要求されている全ての情報を含んでいないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている特定の金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しています。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を四捨五入して表示しています。

3. 重要な会計方針

本要約四半期連結財務諸表の作成に適用した重要な会計方針は、以下に示した変更を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税は、見積平均年次実効税率を用いて算定しています。

(会計方針の変更)

当社グループでは、従来よりクラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、IAS第38号「無形資産」を適用し無形資産を認識しておりましたが、当第2四半期連結会計期間より2021年4月に公表されたIFRS解釈指針委員会のアジェンダ決定に至る議論を踏まえて、コンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのサービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しました。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間、前第2四半期連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

これにより、遡及適用前と比較して、前第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は37,575千円減少し、営業利益、税引前四半期利益および四半期利益はそれぞれ37,575千円増加しております。また、前第2四半期連結会計期間においては、販売費及び一般管理費は19,046千円減少し、営業利益および税引前四半期利益はそれぞれ19,046千円増加し、四半期損失は19,046千円減少しております。前連結会計年度の連結貸借対照表においては無形資産が156,082千円減少し、繰延税金資産が4,089千円増加しております。

前連結会計年度の期首の純資産額に対する累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前連結会計年度期首残高は225,676千円減少しております。

4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられています。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直します。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識します。

経営者が行った要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度の連結財務諸表と同様です。

5. セグメント情報

当社グループは、「毎日の料理を楽しみにする」事業の単一セグメントとなるため、事業分野ごとの収益、損益及びその他項目の記載を省略しています。

6. 後発事象

該当事項はありません。

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。